



練馬区農の学校事業特別企画 ~ ねりまの畑で伝統野菜を学ぶ

江戸東京野菜の栽培講座開催

事前のお知らせ

と き	9月12日(土)~11月23日(祝)の 5日間	ところ	練馬区農の学校 (高松1-35-2)
-----	----------------------------	-----	-----------------------

12日、練馬区農の学校(高松1丁目)で、「江戸東京野菜の栽培講座」を開催する。これは、練馬区農の学校事業の特別企画として、かつて江戸やその近郊で栽培されていた江戸東京野菜の歴史を、種まきから収穫、食味を通して学ぶもので、区内農家等の協力のもと、開催するものである。

講座では「練馬大根」をはじめ、「金町こかぶ」「亀戸大根」「馬込三寸人参」などの江戸東京野菜を学ぶ。

なお、定員を超える応募があったため、募集は終了している。



細くて長い練馬大根も江戸東京野菜

【開催内容と日程(5日間)】

- 【1】実習 (区内農家が指導。種まきから収穫まで。管理作業の必要性を学ぶ)...
- 【2】座学 (江戸東京野菜の歴史と魅力)のみ
- 【3】試食会 (食べ慣れた野菜との違いを体験)...のみ

9月12日(土) ...13:30~15:30	9月26日(土) ...14:00~15:30
10月3日(土) ...10:00~12:00	10月25日(土) ...13:30~15:30
11月23日(祝) ...10:00~13:00	

【江戸東京野菜について】(出典 江戸東京野菜 図鑑編)

今回、講座で学ぶ江戸東京野菜の産地、特徴は以下のとおりである。

練馬大根(練馬区) ...長いものでは80cm~100cmほどとなる。中太りの形をしており、土から引き抜くときにかなりの力を要する。

金町こかぶ(葛飾区) ...小ぶりで真っ白な根と青々とした葉が特徴的である。

亀戸大根(江東区) ...通常の大根に比べ、小ぶりであり、かぶのように緻密でやわらかいとんがり型をしている。

馬込三寸人参(大田区) ...10cm程度の長さで寸詰まりで型ばった形をしている。

後関晩生小松菜(江戸川区) ...通常の小松菜に比べ、味にクセがない。また、葉の枚数が少なく、しっかり根が張っていることが特徴的である。

【講師について】

実習は渡戸秀行氏(区内農業者、江戸東京野菜コンシェルジュ)、座学は大竹道茂氏(江戸東京・伝統野菜研究会代表)が務める。

【今年度の練馬大根関連のイベント(予定)】

今後、練馬大根収穫体験、練馬大根の販売(11月)、練馬大根引っこ抜き競技大会(12月)、練馬大根のたくあん漬けの販売(来年2月)などのイベントを予定している。

【練馬区農の学校事業について(参考)】

農家の高齢化や後継者不足などに対応するため、農に関心を持つ区民の中から農家を支える人材を育てるとともに、人材が活躍する場を提供する拠点として、今年3月に開校した。区内農業者が講師となり農家を支える人材を育成し、支え手を必要とする農家とのマッチングを行う。所定のコースを修了した受講生は「ねりま農サポーター」として認定され、農家の支え手として活動するほか、区内農業イベントの手伝いをする。

【問合せ】練馬区 都市農業課 農業振興係 電話03-5984-1403